

鳥大附小の魅力紹介

2019 vol. 4

ICT 環境の整備

電子黒板の導入

鳥取大学附属小学校で行われているさまざまな魅力いっぱいの取組をご紹介します！

第4回目は ICT 環境整備の一環として、この10月に各教室に設置された「**電子黒板の導入**」についてです。

文部科学省は、令和2年度から順次実施される小・中学校の新学習指導要領で、**情報活用能力**を言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付けています。そこでは各学校でのコンピュータや情報通信ネットワークなどを活用するために必要な環境の整備のほか、これらを適切に活用した学習活動の充実、小学校で必修化されるプログラミング教育など、今後の学習活動において積極的な ICT の活用が想定されています。具体的には、教育用コンピュータの利用環境の改善、普通教室の無線 LAN 整備、普通教室の電子黒板整備などのハード面の整備と、それらの活用促進になります。

今回、本校ではこうした ICT 環境の整備を目的に鳥取大学の学長裁量経費を得て、これまで5・6年の教室にのみ設置されていた**電子黒板をすべての普通教室に設置しました**。文科省の調査によると、平成29年3月現在の「普通教室の電子黒板整備率」は全国平均で24.4%でした。鳥取県の平均値は38.2%でしたが、県内4市の整備率は1割前後にとどまっていました。ペーパーの教科書からは十分に児童に伝えることが難しかった内容も、電子黒板の設置で**画像や動画などのデジタル教材**が活用しやすくなり、**児童もより容易に理解できる**ようになります。電子黒板に映し出される教材に、児童たちが目を輝かせて楽しく学習してくれることを期待しています。



3年1組 社会科の様子

子供たちは、みんなが目を向けて画面を見ています。